

### 4.3 ルート案の検討

#### (1) 運行すべき地域の比較

これまでに示してきた地区別の状況や地域別懇談会での意見等を踏まえ、コミュニティバスを運行すべき地区を以下のとおり比較する。

◎：コミュニティバスの運行の必要性が高い ○：コミュニティバスの運行の検討が必要 △：コミュニティバスの運行の必要性が低い

地区別の状況		ルートに対する考え方・検討が必要な事項	路線バスとの関係性
地区	地区の運行必要性		
砂川町地区	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通不便地域の人口および人口割合が最も高く、西武線北側では公共交通が運行しておらず、錦町に次いでコミュニティバスの運行必要性が高い地域である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西武線北側の道路状況から、現状では片周りでの運行であるが、交通不便地域を解消するため運行が必要と考える。</li> <li>西武線高架下の通行、西武線北側の道路の交通量等の確認の必要がある。</li> </ul>
西砂町地区	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通不便地域の面積が広く、交通不便地域の人口および人口割合も高いため、錦町、砂川町に次いでコミュニティバスの運行必要性が高い地域である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭島駅までの運行要望等を考慮すると、現状の西西ルートを基本とすることが望ましいと考える。</li> </ul>
錦町地区	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通不便地域の面積割合、人口、高齢者人口のいずれの項目も高く、市内で最もコミュニティバスの運行必要性が高い地域である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>錦町三丁目～六丁目の交通不便地域を中心にルートを短縮した効率的な運行を行うことで利便性を向上することが考えられる。</li> <li>朝夕の通勤時間帯には立川駅方面に向かう循環ルートとして運行するなども考えられる。</li> </ul>
上砂町地区・一番町地区	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>一番町は路線バスの運行系統および本数が少なく、住民1人あたりの路線バス運行本数が、錦町に次いで低い地域である。</li> <li>上砂町では、交通不便地域の人口および人口割合が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営一番町北住宅周辺および一番町二丁目周辺の交通不便地域をカバーするルートが考えられる。</li> <li>西武立川駅への乗り入れの必要性を検討する必要がある。</li> </ul>
幸町地区・若葉町地区	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>若葉町は交通不便地域の高齢者人口および高齢者人口割合が高い地域である。特に国分寺市との境の若葉町一丁目、二丁目周辺は立川駅へのアクセスが困難である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西方向の移動要望や、立川駅までのアクセス手段の確保のためモノレールへの乗り継ぎを可能とするルートが考えられる。</li> <li>玉川上水駅南口、若葉町団地でのバス停設置の可能性を確認する必要がある。</li> </ul>
曙町地区	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>立川駅までは近いものの国分寺市との境に路線バスが運行していない地域が存在する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型の路線バスでは運行できない地域であり、立川駅への運行要望に対応したルートが考えられる。</li> <li>立川駅北口でのバス停設置を確認する必要がある。</li> </ul>
富士見町地区	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通不便地域の面積および人口が他の地区と比べて低くコミュニティバスの運行必要性が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状のルートの大半が交通不便地域外を運行している。</li> </ul>
栄町地区	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通不便地域の面積および人口が他の地区と比べて低くコミュニティバスの運行必要性が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバスでも運行可能な道路が限られており非効率な運行となる。</li> </ul>

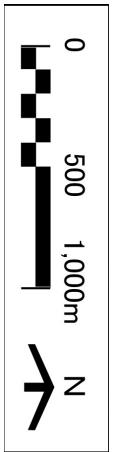
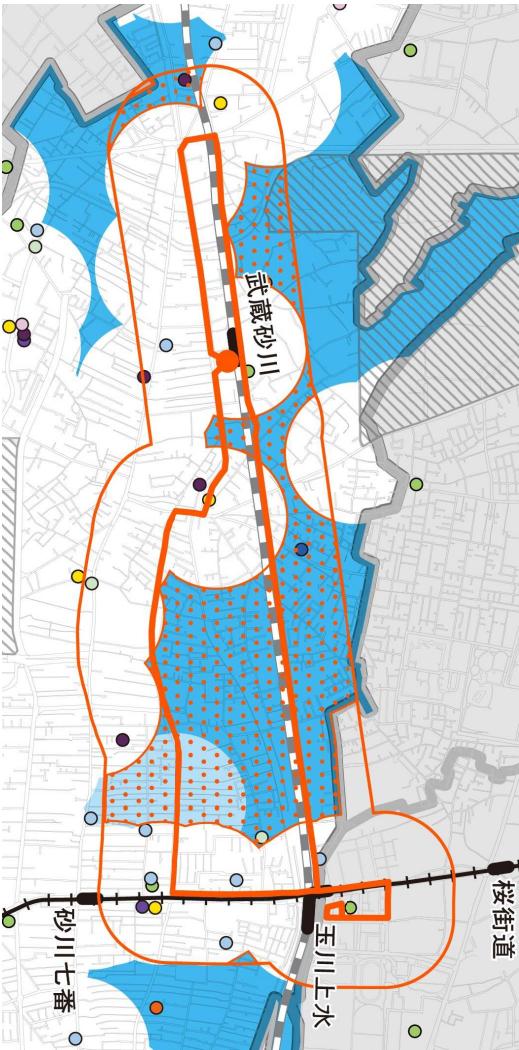
## (2) 再編ルート案

### ① 砂川ルート

#### a. 概要

■砂川ルート（武藏砂川駅南口～玉川上水駅北口～武藏砂川駅南口）〔循環型 約7.4km〕

- ・駅が遠く商業施設等も少ない砂川町において東西方向のアクセスを可能とする新たなルート
- ・交通安全上から天王橋経由とする。

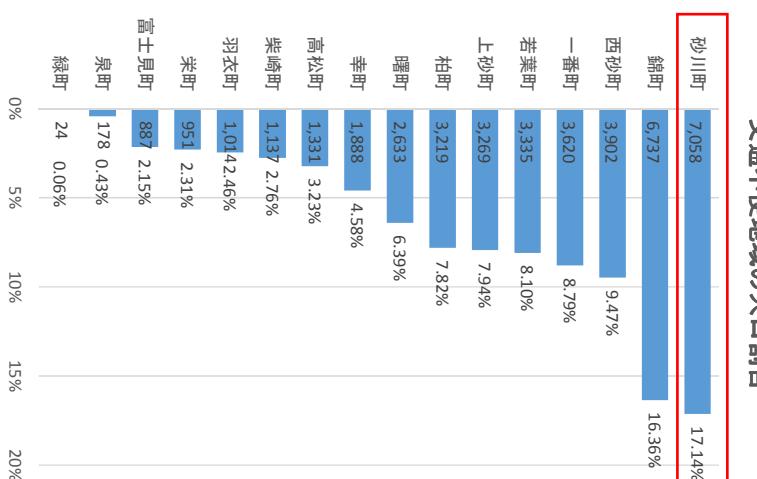


商業施設	●
商業施設 スーパー	●
医療施設	●
総合病院	●
診療所	●
公共施設	●
主要施設	●
児童福祉施設	●
保育所	●
図書館	●
文化施設	●
福祉施設等	●
地域学習館等	●
郵便局	●

## b. 設定理由

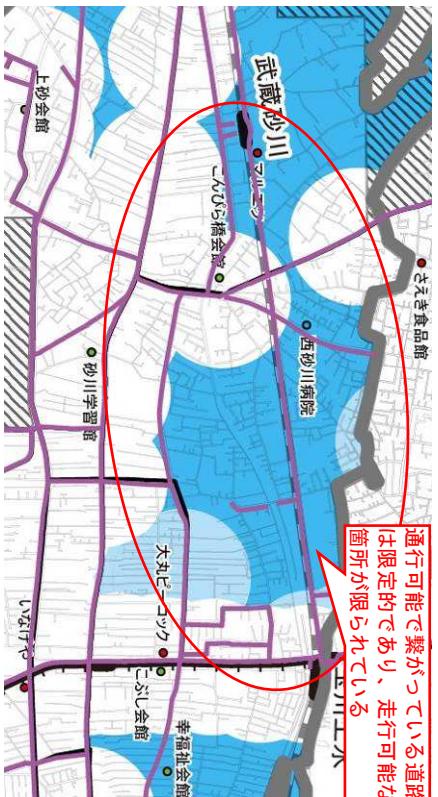
### i. 交通不便地域居住者の移動手段を確保

- 立川市内の交通不便地域人口の 17%を占め、交通不便地域人口、交通不便地域人口割合ともに最も高い砂川地区の公共交通による移動手段を確保する。



### ii. 通行可能な道路による最低限の移動手段の確保

- 西武線沿線の道路は、道路幅員が狭く、現在のコミュニティバス車両による運行が困難な道路が多い。現状で通行可能な道路の運行により、最低限の移動手段を確保する。



### iii. 東西方向の移動・鉄道駅へのアクセス要望に対応

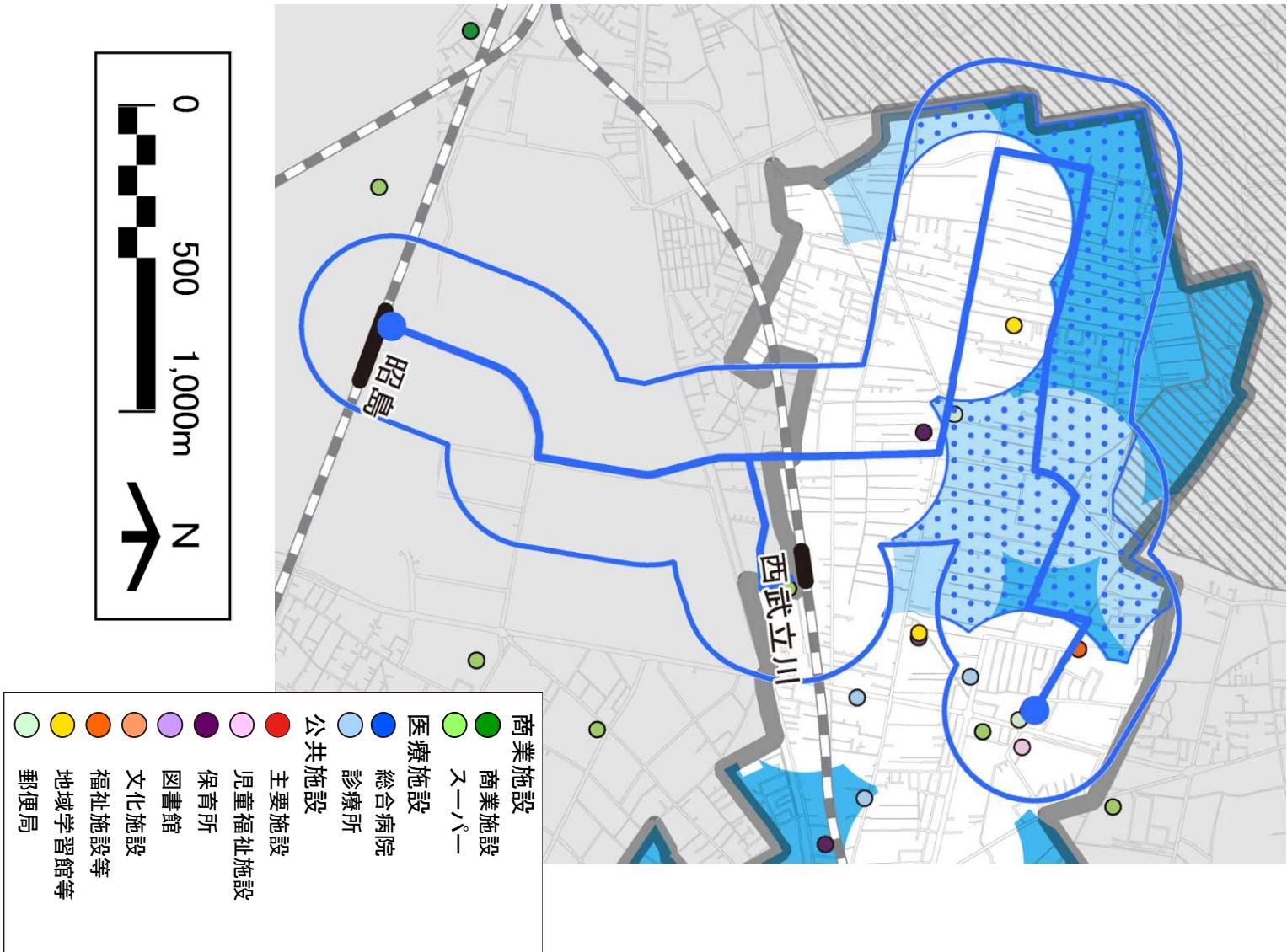
- 砂川町には商業施設等も少なく、東西方向への移動手段の確保により日常の買い物等への足を確保してほしいとの要望が挙がっている。また、玉川上水駅やモノレール駅（砂川七番）へのアクセス手段の確保による都心方向への移動の利便性を向上してほしいとの意見もあった。

## ② 西砂ルート

### a. 概要

■西砂ルート（昭島駅北口～西武立川駅南口～松中団地）〔往復型 約6.7km〕

- ・基本的には現ルートとおおむね同じルート
- ・西武立川駅へは北口ではなく、駅前広場ヒスパーのある南口に乗り入れ

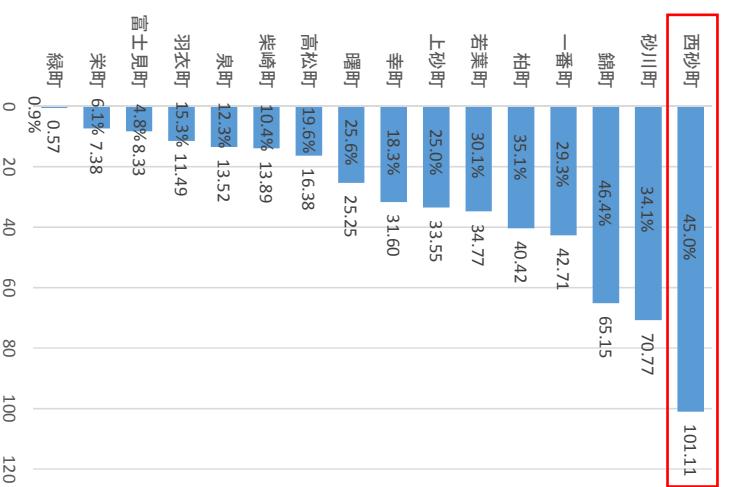


b. 設定理由

卷之三

- ・交通不便地域の面積が最も広く、不便地域の面積割合も錦町に次いで高い地域である。

・近年、新たに住宅等も建設されている地域であり移動手段の確保が必要である。



i.i. 昭島駅への運行要望に対応

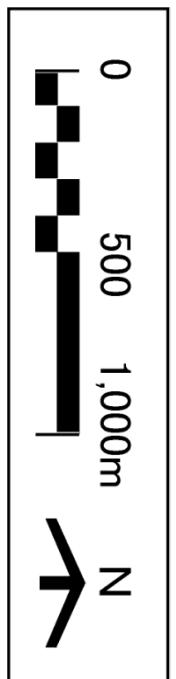
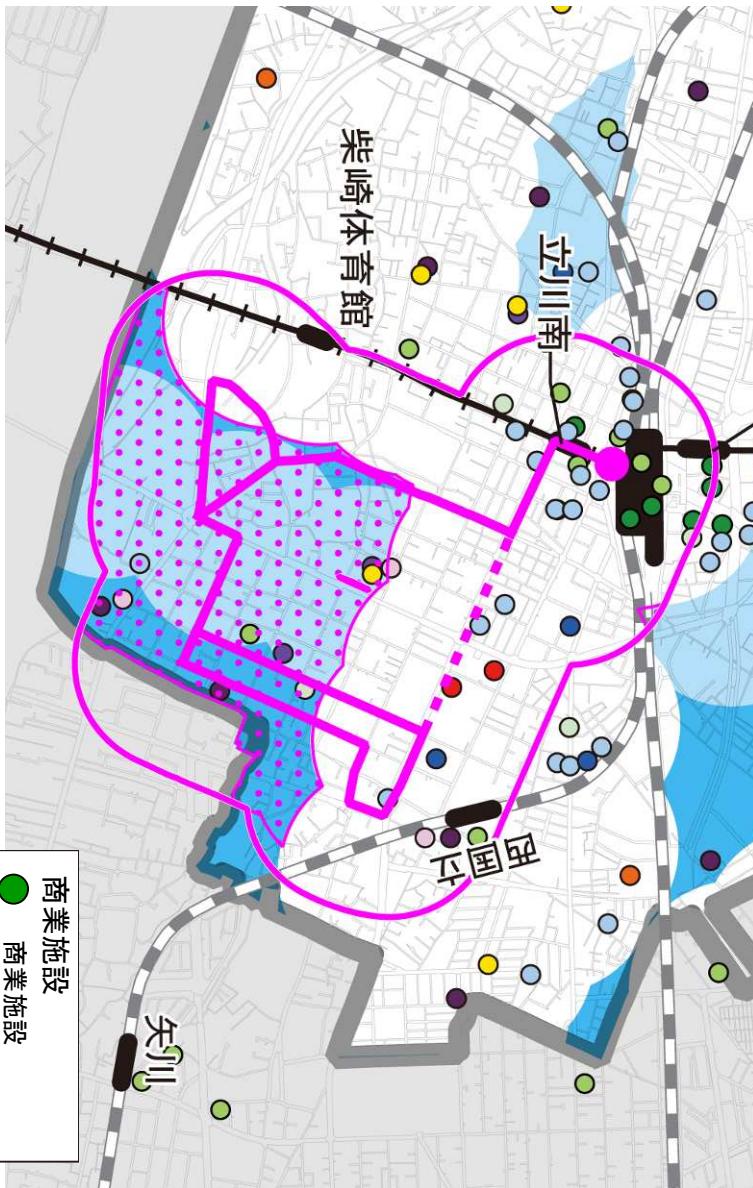
- ・西砂町の方々は、立川駅周辺や立川市役所に行く際に、一度昭島駅まで移動してJRに乗り継いで移動しており、また、都心にアクセスする場合も昭島駅を利用していることから、昭島駅までの運行を望んでいる。

### ③ 錦ルート

#### a. 概要

■錦ルート（立川駅南口～錦町～立川駅南口）〔循環型 約 6.0km〕

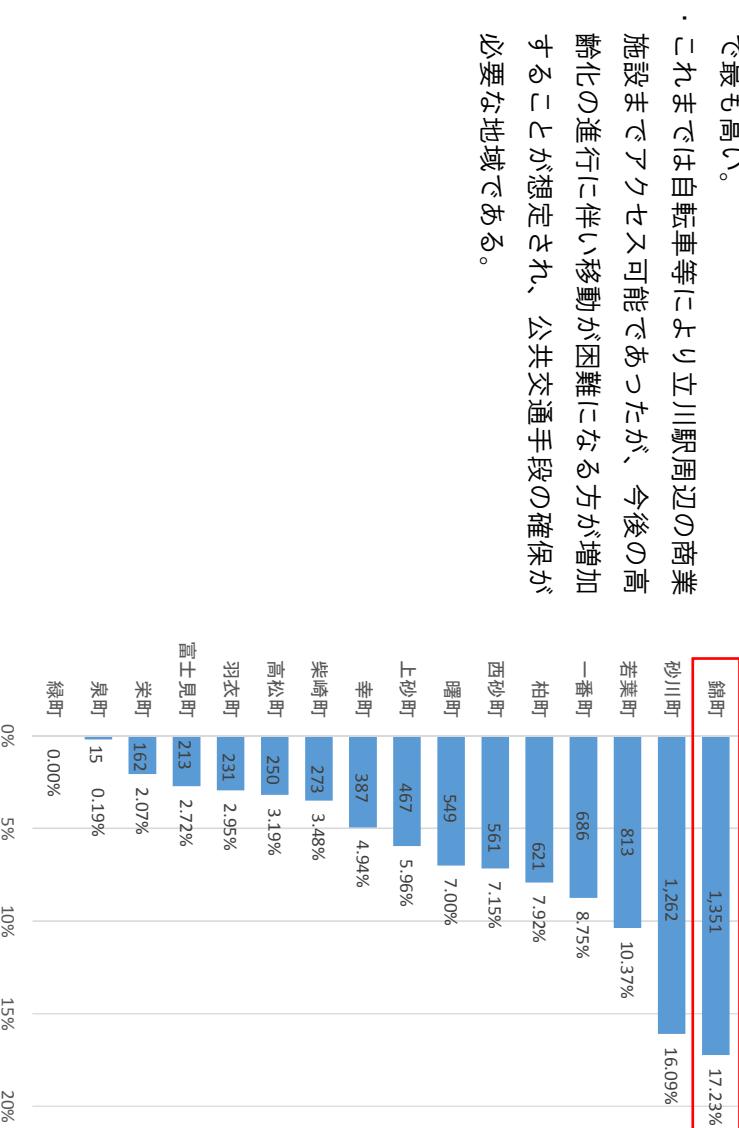
- ・現在の南ルートを交通不便地域が多い錦町へのアクセスに絞ったルート



● 商業施設	● 商業施設
● 医療施設	● スーパー
● 公共施設	● 総合病院
● 主要施設	● 診療所
● 児童福祉施設	
● 保育所	
● 図書館	
● 文化施設	
● 福祉施設等	
● 地域学習館等	
● 郵便局	

b. 設定理由

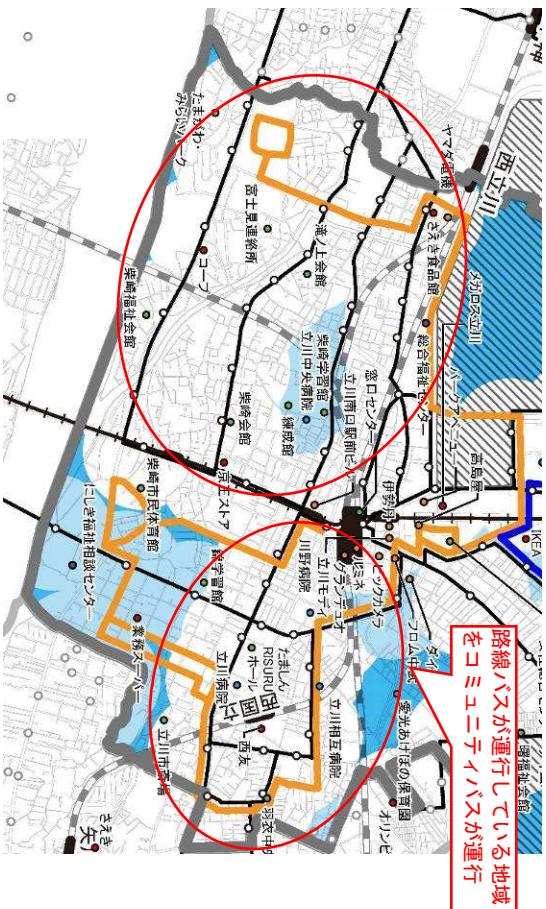
- i. 交通不便地域をカバー・高齢者の移動手段を確保



### 交通不便地域の高齢者割合

11. 効率的な運行による利便性の向上

  - ・現在の南ルートは、富士見町から立川駅北側、羽衣町、錦町へと運行しており、運行距離が長く運行頻度が1時間50分に1本と利便性の低いルートであった。
  - ・交通不便地域である錦町のみに運行箇所を絞り、効率的なルートとすることで、より不便な地域での利便性向上を図る。

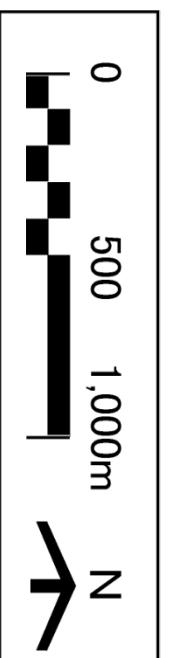
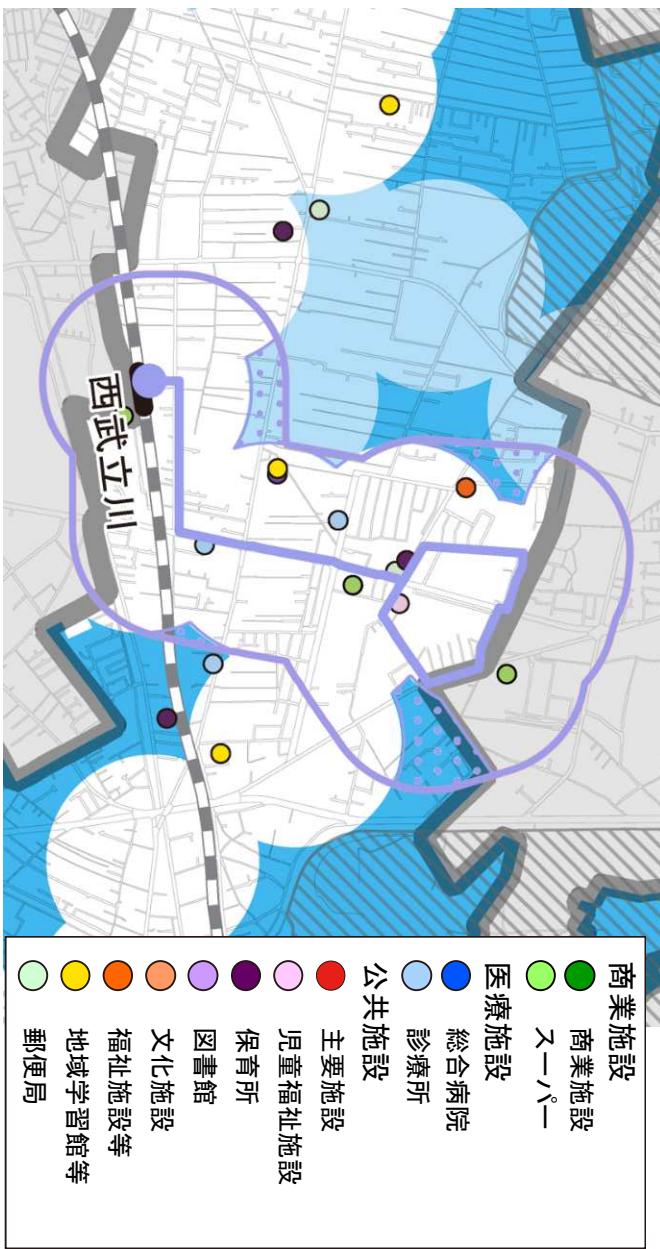


#### ④ 一番ルート

##### a. 概要

■一番ルート（西武立川駅北口～松中団地～西武立川駅北口） [循環型 約3.5km]

- ・市営一番町北住宅周辺や松中団地北部地域から、最短かつスーパーのある西武立川駅を結ぶ新規ルート



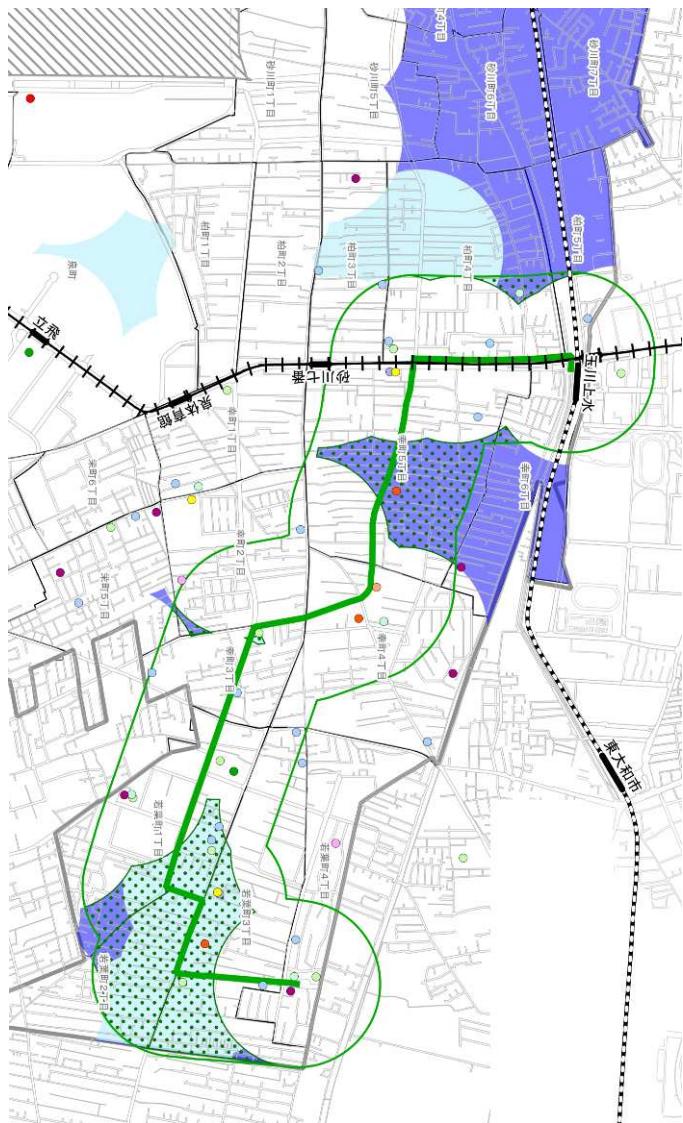
##### b. 設定理由

- i. 交通不便地域の解消
  - ・市営一番町北住宅周辺やエステート立川一番町周辺地域は周辺に商業施設もなく日常生活での買い物も不便な地域である。
  - ・この周辺の交通不便地域を解消するため公共交通の運行が必要である。
- ii. 鉄道駅・商業施設へのアクセスの確保
  - ・西武立川駅では、新たに駅前広場が整備され、それに伴い南口に商業施設も立地している。
  - ・周辺に商業施設が不足している地域から西武立川駅へのアクセス手段を確保することで、日常生活での利便性向上、都心へのアクセスの確保を図る。

## ⑤ 北東ルート

### a. 概要

- ・若葉町の交通不便地域を解消し玉川上水駅に接続するルート
- ・路線バスの回送ルートの営業運転も視野に入れたルート



### a. 設定理由

#### i. 高齢者の移動手段を確保

- ・若葉町は交通不便地域に占める高齢者人口割合が錦町、砂川町に次いで多く、高齢者人口密度は立川市内でも最も高い。
- ・若葉町2丁目・3丁目周辺では立川・国立方面への路線バスが1日34本以下と少ない本数でしか運行していない。
- ・今後の高齢化の進行を考えると、移動困難者が増加することが考えられ、公共交通手段の確保が必要となる。

#### ii. 東西方向への移動手段の確保

- ・地域別懇談会等において、立川駅まで直接アクセスできなくとも、玉川上水駅やモノレールまでアクセスができるれば、その後は乗り継ぎによる移動が可能であるとの意見が挙がっており、東西方向への移動手段が求められている。

本ルートについては、路線バスでの運行として協議を進めている  
(ルートの詳細は現在検討中)

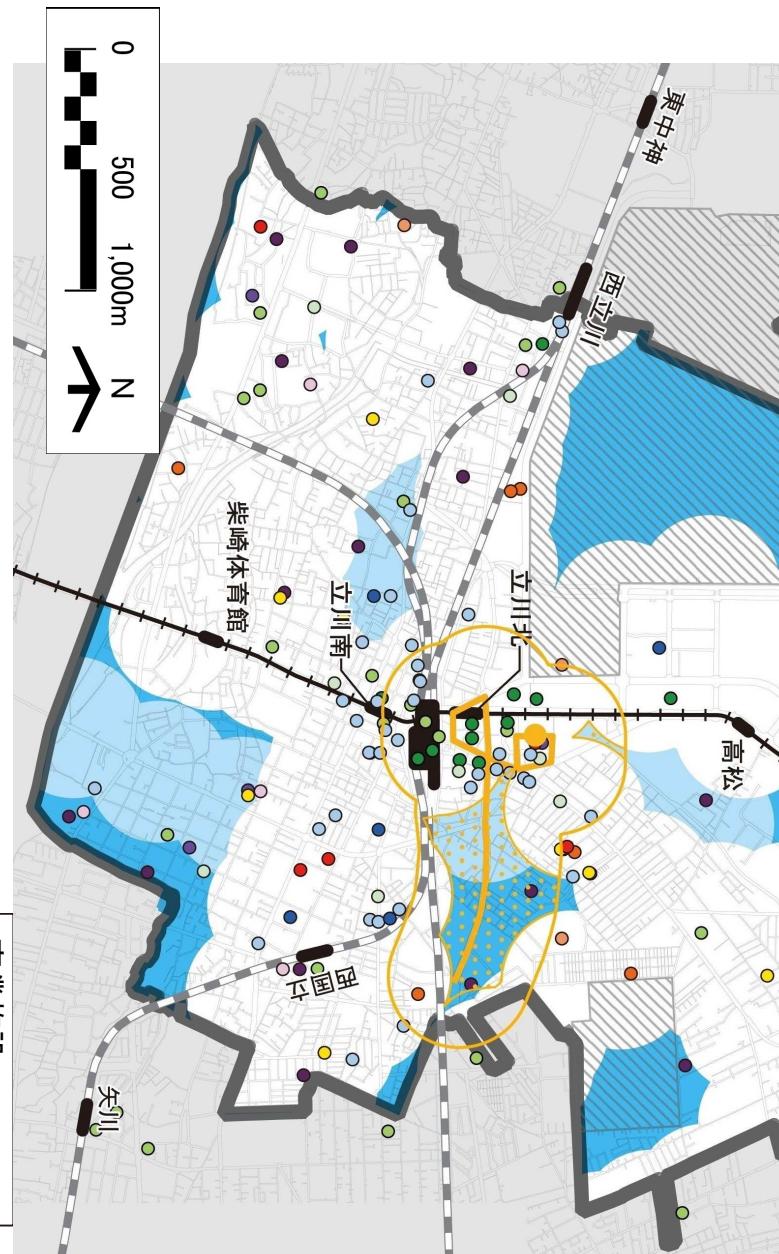


## ⑥ 曙ルート

### a. 概要

#### ■ 曙ルート（女性総合センター～立川駅北口～曙町3丁目）〔循環型 約4.0km〕

- ・立川駅まで近いものの国分寺市との境に路線バスが運行していない地域があり、交通不便地域の解消を図る新たなルート
- ・立川駅北口でのバス集中を避けるため、起終点は女性総合センターとする。



公共施設	主要施設	
	児童福祉施設	保育所
商業施設	商業施設	スーパー
医療施設	総合病院	診療所
文化施設		
福祉施設等		
地域学習館等		
郵便局		

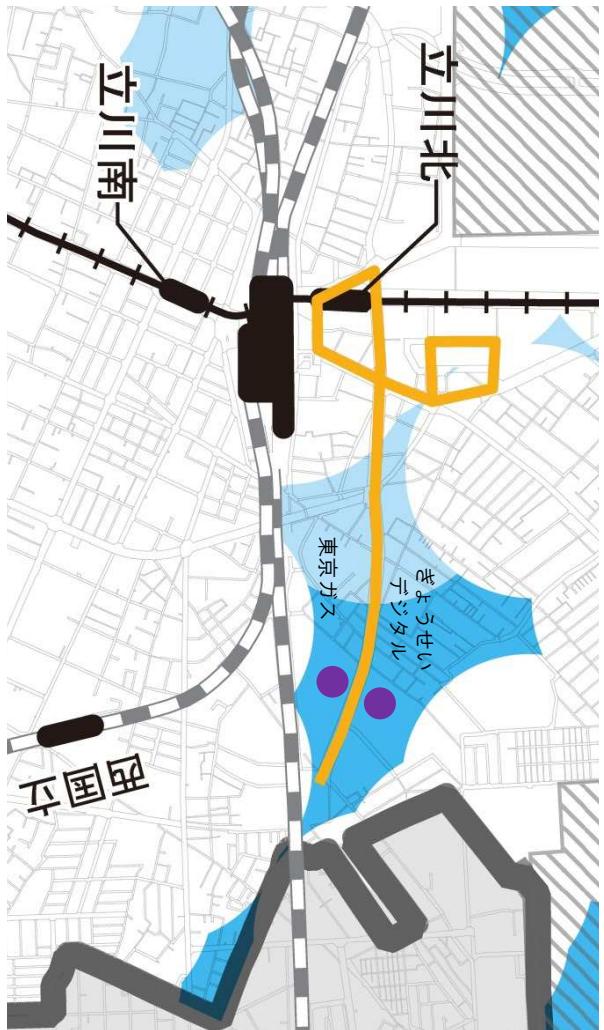
b. 設定理由

i. 交通不便地域の解消

- ・曙町2丁目、3丁目は立川駅に近く利便性が高い地域である一方、一般の路線バスが運行可能な道路がなく、公共交通での移動が困難な地域である。
- ・都営曙町3丁目曙アパート等では高齢化が進んでおり、徒歩や自転車での立川駅周辺への移動が困難な高齢者も増加していることから、公共交通による移動手段の確保が必要である。

ii. 周辺企業の通勤の足

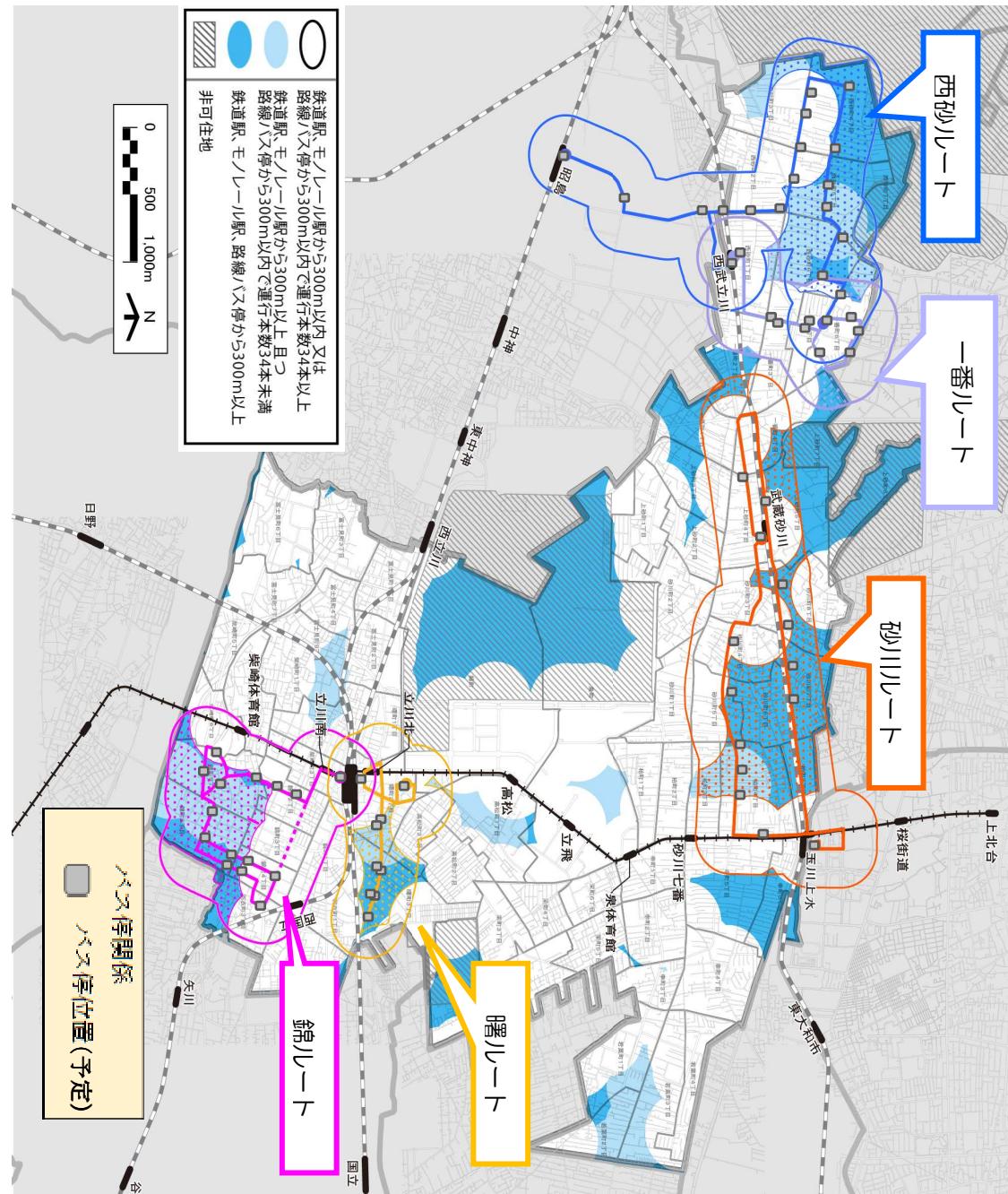
- ・今回検討している路線沿線には、ぎょうせいデジタル、東京ガスなどの企業も立地している。
- ・平日の朝夕の時間帯は通勤目的での利用も想定できる。



#### 4.4 再編ルート

再編後の運行ルートは、地域公共交通会議等で協議した以下の5ルートとする。

- ・西砂ルート（既存ルート）<西西ルート>
- ・一番ルート（新規ルート）<西東ルート>
- ・砂川ルート（新規ルート）<北西ルート>
- ・曙ルート（新規ルート）
- ・錦ルート（既存ルート）<南東ルート>



# 西砂ルート

(往復型：片道 約 6.7km)

松中団地操車場

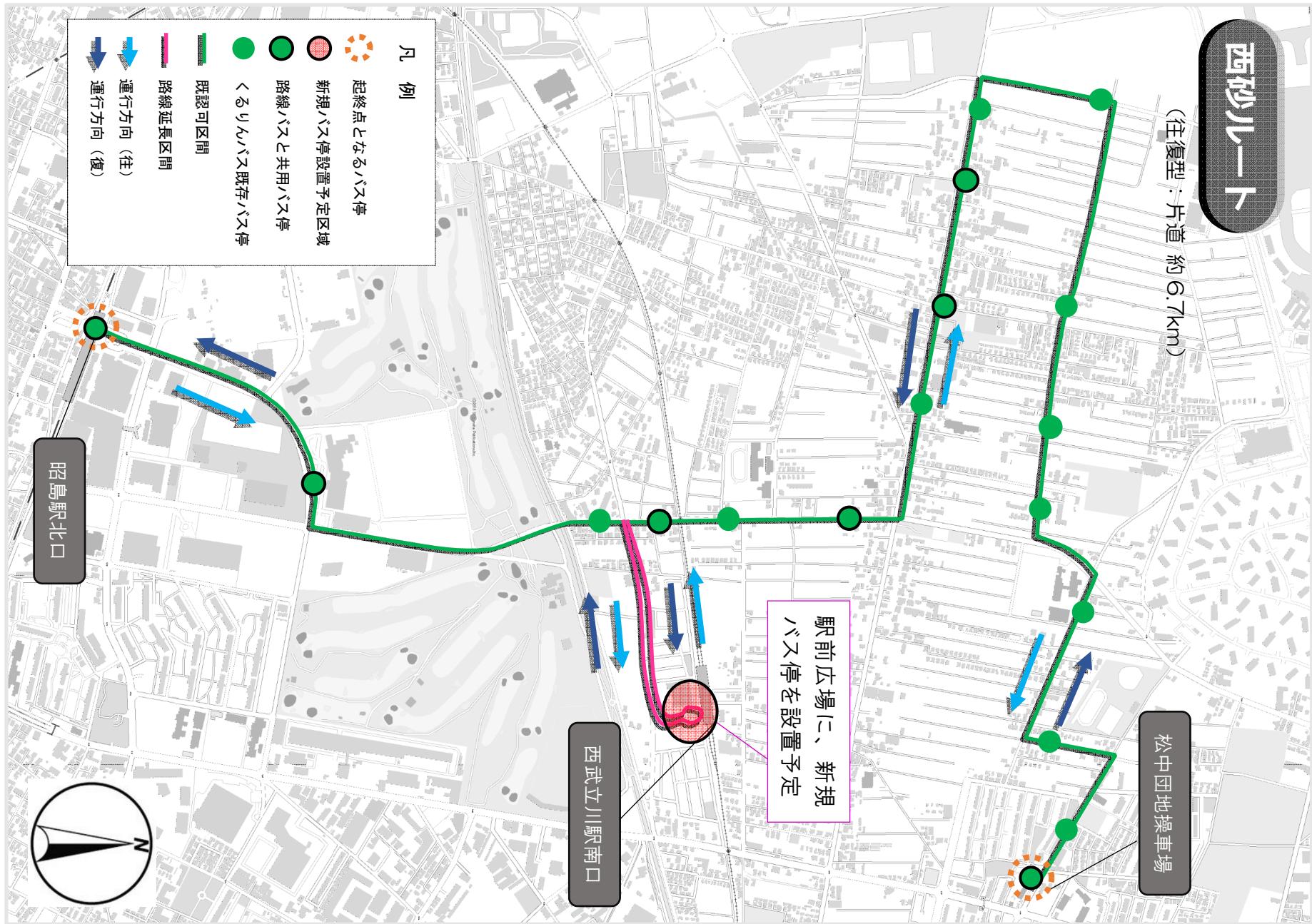
駅前広場に、新規  
バス停を設置予定

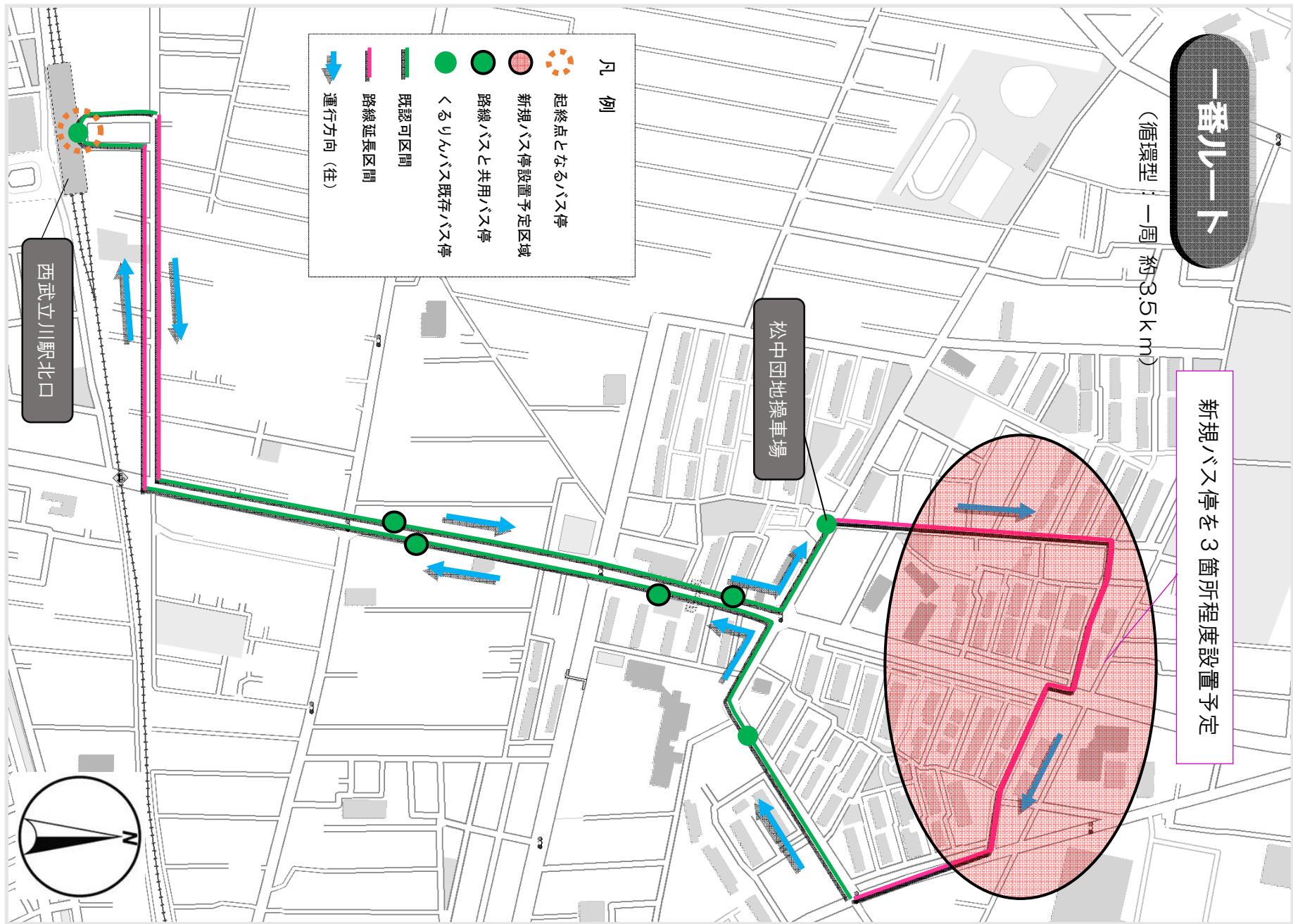
西武立川駅南口

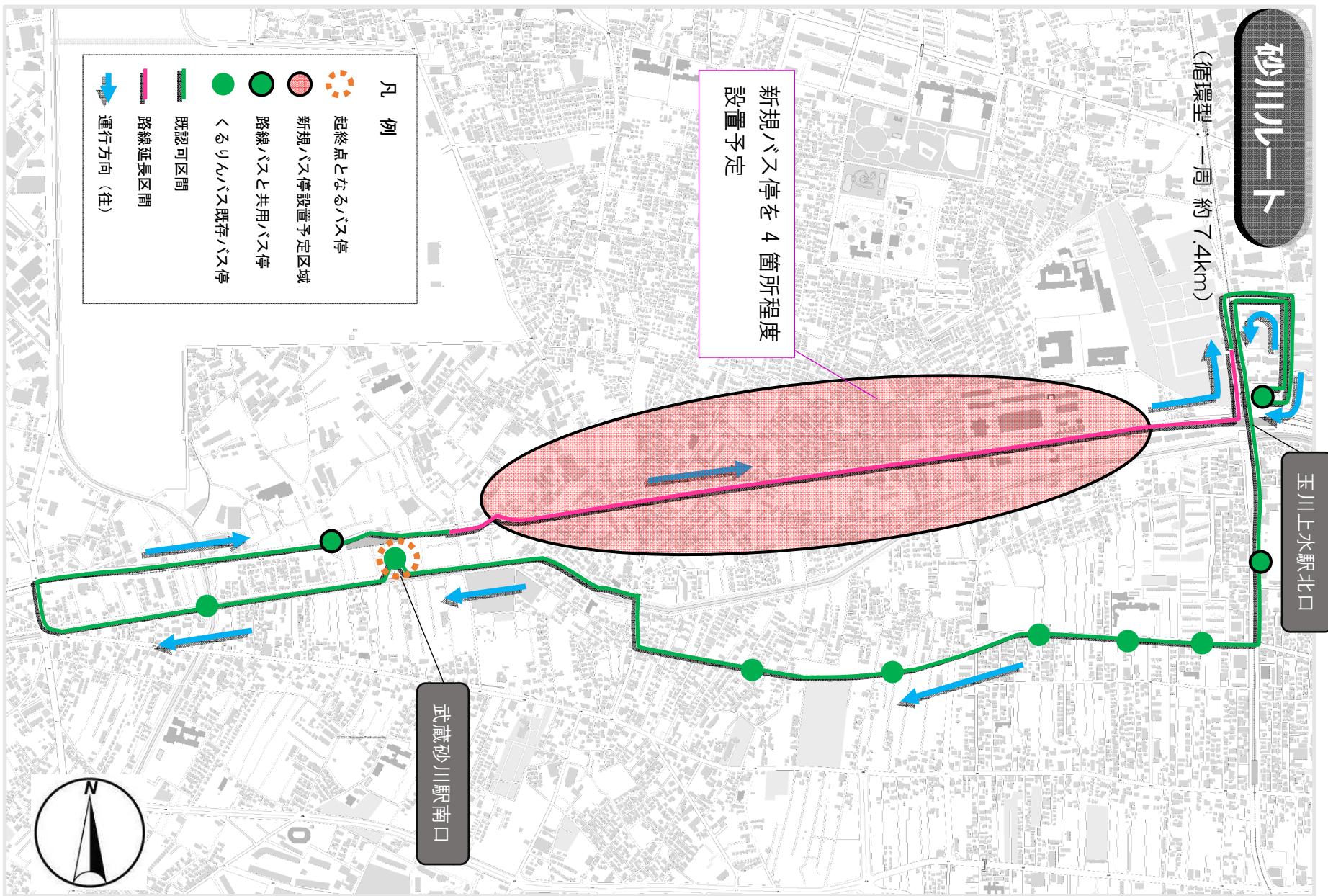
昭島駅北口

## 凡 例

- 起終点となるバス停
- 新規バス停設置予定区域
- 路線バスと共にバス停
- くるりんバス既存バス停
- 路線延長区間
- ↓ 運行方向（往）
- ↓ 運行方向（復）



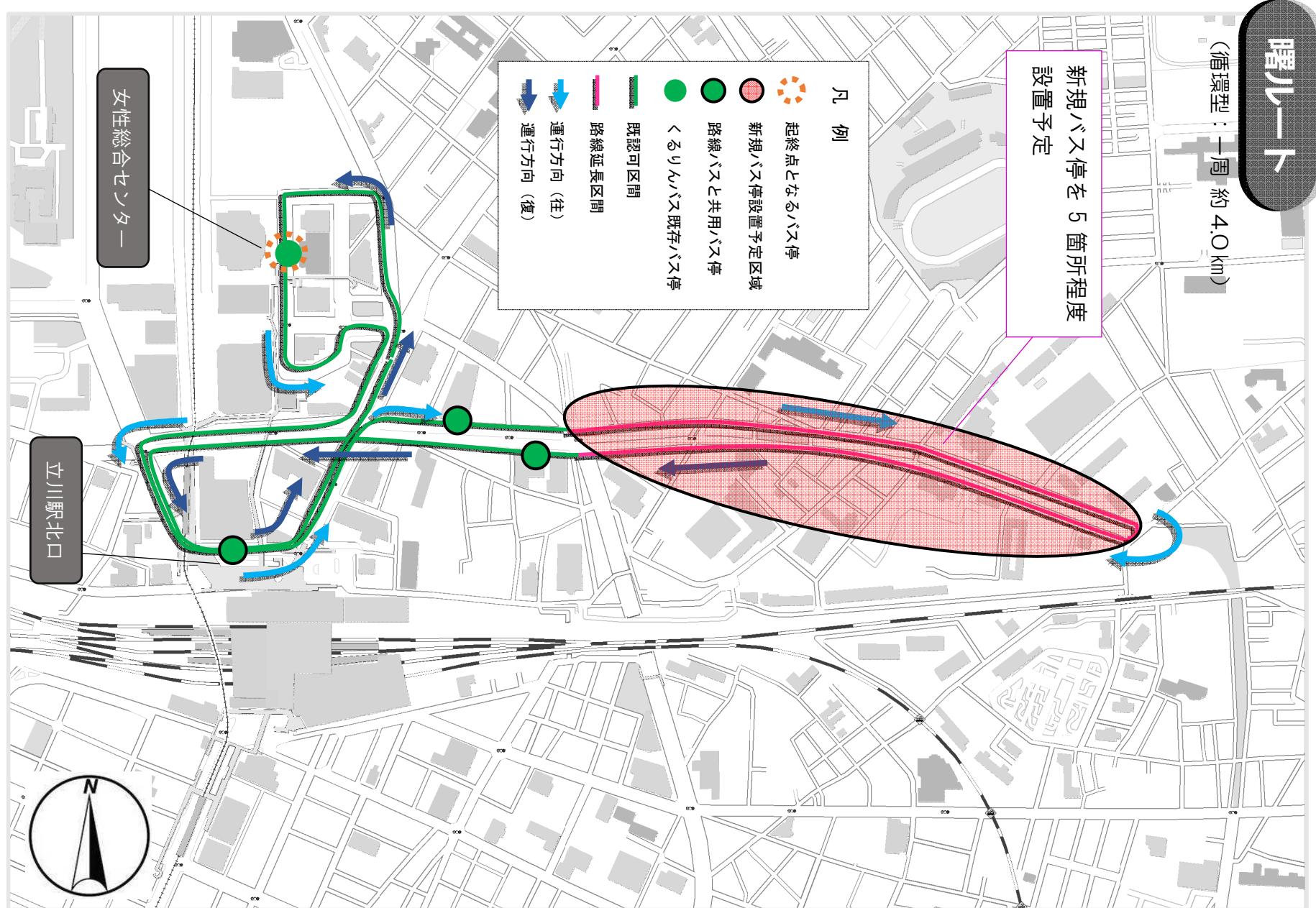




# ルート

(循環型：一周 約 4.0 km)

新規バス停を 5箇所程度  
設置予定



## 錦ルート

(循環型：一周 約 60km)

立川駅南口

凡 例
起終点となるバス停
新規バス停設置予定区域
路線バスと共にバス停
くるりんバス既存バス停
既認可区間
既認可区間※検討中 (ショートカットのルート)
路線延長区間
運行方向 (往)
運行方向 (復)

